

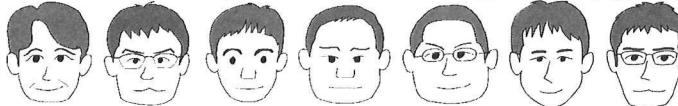


SPは5分でできる  
意識改革！

とやまケンキヨーソ特命

# 多忙解消

セキュリティーポリス  
SP  
No. 19



今回は多忙化の歴史を明らかに

## 5分で分かる！学校超多忙化の「今ここ」

教員は昔もこんなに忙しかったのでしょうか？学校の多忙の歴史と今を解説します。

### 昔、教員には「自由」があった

1970年代、教員には放課後に図書館で教材研究したり、夏休みには研修を自宅で行ったりすることが認められていました。當時を知る人に聞いてみると・・・。

「男の先生は勤務時間が終わるとストーブの周りで酒を飲みながら教育談義をしていた」

「女の先生は5時過ぎには家に帰って、夜に丸つけをしたり、ガリ版※を切ったりしていた。」

「夏休みはほとんど家にいた」

※ガリ版とは鉄筆でガリガリと削る手書き印刷の原紙

教員は専門職としての自由裁量が認められていました。当時の時間外勤務時間は月8時間程度！

### 1970年代、諸悪の根源「給特法」制定

教員は、自発性・創造性に基づく専門職であり、勤務時間の把握が困難であるという理由から、残業手当を支払わず、4%の教職調整額を支払う「給特法」が制定されました。

### 1980年代、1990年代、時間外勤務が当たり前に

昭和の終わり頃、校内暴力への対応や受験対策、研究授業の過熱により、日をまたぐような長時間勤務が「美德」となるような風潮ができました。給特法によって時間外勤務手当を支払う必要がないため歯止めがかかりませんでした。

平成に入ると栄養ドリンクのCMで「24時間戦えますか？」と歌われたように、社会全体で長時間勤務が当たり前になりました。就職氷河期で若手がおらず、中堅・ベテランだけの充実した戦力で教育のレベルが上がり続けました。富山県で「14歳の挑戦」が始まったように、負担が大きい業務もたやすく現場に入りました。

そしてここからさらに加速！

### 多忙解消SPメンバー紹介「私のプチ贅沢」



委員長  
能澤 英樹  
夜の1杯は発泡  
酒じやなくてビ  
ール



書記長  
湯浅 慎治  
コーヒーの深み  
のある香りでリ  
ラックス



書記次長・富山支部担当  
平山 志郎  
エブソムソルト  
を入れた風呂に  
ゆっくりつかる。



魚津支部担当執行委員  
寺島 豊和  
ロウリュのある  
サウナに行く



高岡支部担当執行委員  
林 誠  
気のおけない仲  
間との温泉めぐ  
り



砺波支部担当執行委員  
正来 晋  
こたつで居眠り



特別支援担当執行委員  
林 伸恭  
コンビニスイー  
ツに赤ワインで  
乾杯

うらへ

# 2000年代、教員管理が強まる

「夏休み、先生が昼間、自宅で洗車をしている」という批判から、研修が詰め込まれました。自宅研修は事実上の廃止となり専門職としての自由裁量は姿を消しました。昔は「顧問は来んもん」だった部活動は顧問の立会いが厳しく求められました。地域との連携が叫ばれ、土日に地域の行事へ参加することが多くなりました。「総合」も始まりました。

# 2010年代、教員はサービス業に

「アクションプラン」など説明責任を果たすための業務が次々と増えました。ほぼ同時期にモンスターペアレントが姿を現します。保護者は「一緒に子どもを育てる」立場からサービスの受益者になりました。学力向上が叫ばれ、学習指導要領の教える内容も増え続けました。

# 学校はブラック職場に

2018年には富山県の中学校の教員が過労死したことが全国ニュースになりました。全国的にも「学校はブラック」という声が高まり、中教審において、給特法のあり方を含む学校の働き方改革の審議が始まりました。

# 2019年、給特法の行方は・・・

中教審の約1年半の審議の末、今年1月、答申案が発表され、給特法は改正しないことがほぼ決定となりました。「教員は創造的、自発的な勤務」だというのがその理由ですが、教員の自由裁量のある働き方はすでに姿を消しています。また、勤務時間をタイムカードで管理することになりましたが、これは「勤務時間の把握が困難」という給特法の制定根拠を否定しています。さらに、時間外勤務時間は最高でも100時間以内とするという案は、教職調整額の4%の根拠である月8時間の時間外勤務時間と乖離しています。もはや給特法の存在理由は何もありません。

# 給特法変わらず←今ここ

このように、教員の仕事は都合のいいように増やされ続け、責任も重くなりました。ですが、長い歴史の中で今ほど改革の風が吹いている時はありません。このチャンスに少しでも業務を削減することが大切です。答申案には、学校の働き方を改善していく方策もたくさん示されました（詳細は次回）。それらを一つ一つ実現していくことで教育を守るしかありません。

# 「今ここ」でも未来は変えられます！！

多忙反対！家庭第一のイクメン教師  
つるぎ

## 剣マモルが行く！

「今ここ」学校あるある！の巻

職員室に忘れ物を取りに行った  
報告と質問が次々ときた  
何を取りに来たか忘れた  
思い出し中 ← 今ここ



職員会議で増えそうになった  
「1つ増やすなら1つ減らしてください」  
会議凍結 ← 今ここ



「今日は仕事3つ終わらせる！」

緊急の仕事が入った

すぐやった

仕事が2つ入った

1つだけできた

時間切れ

3つが4つに増えた ← 今ここ



「いただきます」

食缶におかずがいっぱい余っていた

全員に少しづつ配った

すっきりした！

自分のお椀は空だった ← 今ここ

